

ラオスの2橋梁掛替で起工式

設計、施工監理を実施

オリコンサル
グローバル

オリエンタルコンサル
タンツグローバルが予備
設計から実施設計、施工
監理までを一貫して行っ
ている、ラオス国の「国
道9号線改修計画」プロ
ジェクトで架け替えられ
るセカムカム橋とセタ
ームアック橋の起工式が
3日、サバナケット県ピ
ン郡で開催された。式典
にはブンチャン交通公共
事業省大臣、在ラオス日
本大使館の引原毅特命全
権大使など、多くの来賓

が参列した。

「国道9号線改修計画」
は、日本ODA無償資金
協力によるもの。コント
ラクターは安藤ハザマ・
JFEエンジニアリング
JV。国道9号線はイン
ドシナ半島を横断する東
西経済回廊の一部であ
り、ラオス国の中南部を
横断する形で、東側のベ
トナム国境から西側第
二メコン国際橋が位置す
るタイ国境までを接続
する国際幹線道路となっ

ている。

国道9号線上には51橋
の橋梁があり、その多く
は劣化が顕在化している
ことから、同プロジェク
トでは、劣化が進行した
2橋梁の架け替えを行

う。

ラオス国が抱える維持
管理面の課題に配慮し
て、ライフサイクルコス
トの低減を図るため、新
橋の形式には鋼・コンク
リート合成床版橋を採用
し、同国初の耐候性鋼の
橋梁となる。劣化が進行
した橋梁の架け替えによ
って、同国道の安全かつ
安定的な交通を実現し、
周辺地域のみならず同国
の経済活動の発展と、A
SEAN全体の社会経済
開発に寄与していく。